

報道資料

事業報告書

平成 24 年度(2012 年度)4 月 1 日～12 月 31 日

公益社団法人日本プロサッカーリーグ

〔 目 次 〕

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

- 1 J1リーグ戦
- 2 J2リーグ戦
- 3 リーグカップ戦
- 4 J1昇格プレーオフ
- 5 第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会
- 6 東日本大震災復興支援 2012Jリーグスペシャルマッチ

② 公式記録の作成、管理及び運用

- 1 試合記録
- 2 映像
- 3 静止画像

③ 表彰

- 1 J.LEAGUE AWARDS(表彰式)の開催
- 2 リーグ戦成績及びリーグカップ戦成績に対する表彰
- 3 その他の表彰

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

- 1 Jリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂
- 2 Jリーグ クラブライセンス交付規則及び諸規定の制定
- 3 規約規程集の発行

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

- 1 プロサッカー選手の資格認定及び登録
- 2 Jリーグ アカデミーの推進
 - (1) 選手一貫教育の実施
 - (2) 研修会等の実施
 - (3) 育成年代の試合環境整備の推進
 - (ア) Jユースカップ
 - (イ) Jリーグ U-14
 - (ウ) Jリーグ U-13
 - (4) 地域とのネットワークづくり活動の促進
 - (5) 試合分析等
- 3 プロサッカーの監督及びコーチの養成及び登録
- 4 プロサッカーの審判員の養成及び登録
- 5 レフェリング分析のインターネット配信

② マッチコミッショナーの任命

- 4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定
 - ① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定
 - 1 スタジアム施設の検査、公式試合開催指定スタジアムの指定
 - 2 用具の認定

- 5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及
 - ① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約
 - 1 テレビ放送等に関する契約

- 6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導
 - ① 各種委員会等による研修の実施
 - 1 管理スタッフ教育のための研修
 - 2 サッカーに関する情報収集のための研修

 - ② ドーピング検査の実施
 - 1 ドーピング検査の実施

 - ③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究
 - 1 セキュリティ研究会の開催
 - 2 スタジアム等サッカーの施設整備の推進

 - ④ ファン リレーションズ促進を狙いとした施策の実施

 - ⑤ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施
 - 1 マーケティング調査研究の実施
 - 2 マーケティング研修会等の実施

 - ⑥ リーグ構造に関する調査、研究

 - ⑦ クラブライセンス制度の導入、施行
 - 1 Jリーグクラブライセンス交付規則及び諸規定の制定、施行
 - 2 クラブのJリーグ会員資格審査、経営状態の調査及び指導
 - 3 準加盟クラブの資格審査及び指導

- 7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施
 - ① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施
 - 1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施
 - 2 プロサッカー選手のキャリア教育

- 8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
 - ① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施
 - 1 国際大会への参加
 - 2 国際親善試合の実施
 - 3 育成年代の国際交流試合の実施

- 9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助
 - ① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進
 - 1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー

- 2 地域スポーツ振興への支援
- 3 地域ボランティア活動への支援
- 4 スタジアムおよび総合型スポーツクラブとしての基盤等の整備

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

- ① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及
 - 1 プロサッカーの試合開催の告知
 - 2 Jリーグの理念の告知
 - 3 Jリーグに関する広報誌、DVDの発行
 - 4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及び公式および公認サイトによる情報提供
 - 5 Jリーグに関する出版物の発行
 - 6 Jリーグに関する情報サービス
 - 7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

11) その他目的を達成するために必要な事業

- ① プロサッカーに関するパートナー、スポンサー及びサプライヤー契約
 - 1 パートナー、スポンサー及びサプライヤー契約
- ② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約
 - 1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約
- ③ プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の製作販売
 - 1 商標の登録、管理
 - 2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の制作販売
 - 3 データ事業
- ④ コンプライアンス体制の構築
 - 1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立に向けた研究
- ⑤ その他目的を達成するために必要な事業
 - 1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画
 - 2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務
- ⑥ Jリーグ20周年事業の実施
- ⑦ 東日本大震災復興支援活動の実施

平成24年度(2012年度)事業報告書

1) プロサッカー試合の主催及び公式記録の作成

① プロサッカー試合の主催

-1 J1リーグ戦

J1会員18クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は4,758,760人、1試合平均は17,625人であった。

開催期間	4月7日(土)～12月1日(土) 主に土曜日または水曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦 全270試合
出場クラブ	J1会員18クラブ
成績	1位 サンフレッチェ広島 2位 ベガルタ仙台 3位 浦和レッズ 4位 横浜F・マリノス 5位 サガン鳥栖 6位 柏レイソル 7位 名古屋グランパス 8位 川崎フロンターレ 9位 清水エスパルス 10位 FC東京 11位 鹿島アントラーズ 12位 ジュビロ磐田 13位 大宮アルディージャ 14位 セレッソ大阪 15位 アルビレックス新潟 16位 ヴィッセル神戸 17位 ガンバ大阪 18位 コンサドーレ札幌

-2 J2リーグ戦

J2会員22クラブの参加によるリーグ戦を有料で開催し、その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は2,392,305人、1試合平均は5,878人であった。

開催期間	4月1日(日)～11月11日(日) 主に日曜日または水曜日に開催
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム
大会方式	2回戦総当たりリーグ戦、全407試合
出場クラブ	J2会員22クラブ
成績	優勝 ヴァンフォーレ甲府 2位 湘南ベルマーレ 3位 京都サンガF.C. 4位 横浜FC 5位 ジェフユナイテッド千葉 6位 大分トリニータ

- 7位 東京ヴェルディ
- 8位 ファジアーノ岡山
- 9位 ギラヴァンツ北九州
- 10位 モンテディオ山形
- 11位 栃木SC
- 12位 松本山雅FC
- 13位 水戸ホーリーホック
- 14位 ロアッソ熊本
- 15位 徳島ヴォルティス
- 16位 愛媛FC
- 17位 ザスパ草津
- 18位 アビスパ福岡
- 19位 カターレ富山
- 20位 ガイナーレ鳥取
- 21位 FC岐阜
- 22位 FC町田ゼルビア

-3 リーグカップ戦

J1会員18クラブが参加。その成績に応じて表彰を行った。総入場者実数は429,653人、1試合平均は8,768人であった。

大会名	2012 Jリーグヤマザキナビスコカップ
開催期間	予選リーグ 第2節 4月4日(水) 第3節 4月18日(水) 第4節 5月16日(水) 第5節 6月6日(水) 第6節 6月9日(土) 第7節 6月27日(水) 決勝トーナメント 準々決勝 第1戦 7月25日(水) 準々決勝 第2戦 8月8日(水) 準決勝 第1戦 9月5日(水) 準決勝 第2戦 10月13日(土) 決勝 11月3日(土・祝)
開催場所	主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム 決勝：東京・国立競技場
大会方式	J1 14チームで1回戦総当たりの予選リーグを行い、上位2チームが準々決勝に進出。準々決勝以降はトーナメント方式。準々決勝および準決勝はホーム&アウェイの2試合制、決勝は1試合制で行う。AFCチャンピオンズリーグ出場の4クラブ(柏レイソル、名古屋グランパス、ガンバ大阪、FC東京)は、予選リーグをシード。
出場クラブ	J1会員18クラブ
成績	優勝 鹿島アントラーズ 2位 清水エスパルス 3位 FC東京、柏レイソル MVP 柴崎 岳(鹿島) ニューヒーロー賞 石毛 秀樹(清水)

-4 J1昇格プレーオフ

開催期間	11月18日(日)、11月25日(日)
開催場所	出場クラブのホームタウンにおけるスタジアム、または中立地
大会方式	4クラブによるトーナメントにて準決勝および決勝を各1回戦で実施。2012Jリーグディビジョン2の最終成績において、3位-6位、4位-5位にて準決勝を実施し、勝者が決勝戦を行う。決勝戦の勝者が2013シーズンJリーグディビジョン1へ昇格する。引き分けた場合は、リーグ戦の最終成績が高い方が勝者となる。
出場クラブ	2012Jリーグディビジョン2(J2)年間順位3位~6位までの4クラブ
成績	優勝 大分トリニータ

-5 第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会

開催期間	1回戦	9月1日(土)、2日(日)
	2回戦	9月8日(土)、9日(日)
	3回戦	10月10日(水)
	4回戦	12月15日(土)
	準々決勝	12月23日(日)
	準決勝	12月29日(土)
	決勝	2013年1月1日(火・祝)
開催場所	全国のスタジアム	
大会方式	トーナメント方式	
出場クラブ	J1:18チーム J2:22チーム 第14回JFL前期17節時点で首位のチーム 都道府県代表47チーム	
成績	優勝 柏レイソル 準優勝 ガンバ大阪 3位 横浜F・マリノス、鹿島アントラーズ	

-6 東日本大震災復興支援 2012Jリーグスペシャルマッチ

開催期日	7月21日(土)
開催場所	県立カシマサッカースタジアム
大会方式	90分間の試合を行い、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
出場選手	J1クラブ所属選手の中から投票および選考により決定する。ベガルタ仙台と鹿島アントラーズ、東北出身選手、海外招待選手からの選抜メンバーを「Jリーグ TEAM AS ONE」とし、その他の選手からの選抜メンバーを「Jリーグ選抜」とする。
成績	Jリーグ TEAM AS ONE (4-0) Jリーグ選抜
入場者数	23,760人

② 公式記録の作成、管理及び運用

-1 試合記録

J1及びJ2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の記録の作成及び収録、保管及び管理、試合速報等の販売を(株)Jリーグメディアプロモーションに委託し行った。

(業務委託先：(株) Jリーグメディアプロモーション (株) Jリーグメディアプロモーションは、データスタジアム (株) と協力してJリーグデータセンター運營業務を行った。)

-2 映像

J 1及びJ 2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式試合及び公式行事の映像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理を (株) Jリーグメディアプロモーションに委託し行った。

-3 静止画像

J 1及びJ 2会員クラブによるリーグ戦の試合等、公式行事及び公式行事の静止画像の収録、保管、管理及び販売ならびに選手肖像等の管理を ジェイリーグフォト(株)に委託し行った。

③ 表彰

-1 J.LEAGUE AWARDS(表彰式)の開催

行事名 2012 Jリーグアウォーズ

開催期日 12月3日 (月)

開催場所 横浜アリーナ

受賞者 (1) 最優秀選手賞

佐藤 寿人 (広島)

(2) ベストイレブン (11名)

GK (1名)

西川 周作 (広島)

DF (3名)

駒野 友一 (磐田)、田中 マルクス闘莉王 (名古屋)、

水本 裕貴 (広島)

MF (4名)

レアンドロ ドミンゲス (柏)、遠藤 保仁 (G大阪)、

青山 敏弘 (広島)、高萩 洋次郎 (広島)

FW (3名)

ウイルソン (仙台)、豊田 陽平 (鳥栖)、佐藤 寿人 (広島)

(3) 優秀選手賞 (32名)

GK (3名)

林 卓人 (仙台)、檜崎 正剛 (名古屋)、西川 周作 (広島)

DF (10名)

上本 大海 (仙台)、角田 誠 (仙台)、鎌田 次郎 (仙台)、

槇野 智章 (浦和)、栗原 勇蔵 (横浜FM)、中澤 佑二 (横

浜FM)、駒野 友一 (磐田)、田中 マルクス闘莉王 (名古屋)、

千葉 和彦 (広島)、水本 裕貴 (広島)

森脇 良太 (広島)

MF (12名)

菅井 直樹 (仙台)、梁 勇基 (仙台)、阿部 勇樹 (浦和)、

レアンドロ ドミンゲス (柏)、中村 憲剛 (川崎)、

中村 俊輔 (横浜FM)、山田 大記 (磐田)、
遠藤 保仁 (G大阪)、柿谷 曜一朗 (C大阪)、
青山 敏弘 (広島)、高萩 洋次郎 (広島)、森崎 和幸 (広島)
FW (6名)

赤嶺 真吾 (仙台)、ウイルソン (仙台)、大前 元紀 (清水)、
前田 遼一 (磐田)、豊田 陽平 (鳥栖)、佐藤 寿人 (広島)

(4) 得点王

佐藤 寿人 (広島)

(5) ベストヤングプレイヤー賞

柴崎 岳 (鹿島)

(6) フェアプレー賞 高円宮杯

サンフレッチェ広島

(7) フェアプレー賞 J 1

川崎フロンターレ

(8) フェアプレー賞 J 2

(該当なし)

(9) フェアプレー個人賞

佐藤 寿人 (広島)

(10) 最優秀監督賞

森保 一 (広島)

(11) 最優秀主審賞

西村 雄一

(12) 最優秀副審賞

相樂 亨

(13) Jリーグベストピッチ賞

東北電力ビッグスワンスタジアム、アウトソーシングスタジアム日本平、
日産スタジアム、キンチョウスタジアム

(14) 功労賞

(該当なし)

(15) 功労選手賞

藤田 俊哉氏、田中 誠氏

(16) 功労審判員賞

(該当なし)

(17) 最優秀育成クラブ賞

コンサドーレ札幌

表彰

(1) 最優秀選手賞

ブック型楯、賞金2,000,000円、ゴールデンボールトロ
フィー、カリブ海クルーズペアの旅、アディダスオリジナルガ
ラス製ボール型大皿トロフィー

(2) ベストイレブン

ブック型楯、賞金1,000,000円、クリスタル・オーナ
メント

(3) 優秀選手賞

記念メダル (18K)、ハンバーガー1年分

(4) 得点王

ブック型楯、賞金1,000,000円、ゴールデンシューズトロフィー、Coca-Cola Gold Trophy & コカ・コーラ 一年分プラチナ/ダイヤモンドピンブローチ

(5) ベストヤングプレーヤー賞

ブック型楯、賞金500,000円、オリジナル高級腕時計(タグ・ホイヤー製)、オリジナル純金メダル&ブック型表彰楯

(6) フェアプレー賞 高円宮杯

高円宮杯、賞金 5,000,000円

(7) フェアプレー賞 J1

賞金5,000,000円

(8) フェアプレー賞 J2

記念品

(9) フェアプレー個人賞

楯、賞金500,000円

(10) 最優秀監督賞

ブック型楯、賞金1,000,000円、ミラーレスカメラEOS M・ダブルレンズキット、旅行券(100万円分)

(11) 最優秀主審賞

ブック型楯、海外研修旅行、アディダスオリジナルフラッグ型ガラス製皿型トロフィー、オリジナル半導体ウェハプレート

(12) 最優秀副審賞

ブック型楯、海外研修旅行、銀製アシスタントレフェリーフラッグシールド、オリジナル半導体ウェハプレート

(13) Jリーグベストピッチ賞

ブック型楯

(14) 功労選手賞

楯、腕時計

(15) 功労審判員賞

楯、腕時計

(16) 最優秀育成クラブ賞

ブック型楯、「宮崎牛1頭」と「完熟マンゴー」など「宮崎県産旬の野菜・果物」

-2 リーグ戦成績及びリーグカップ戦成績に対する表彰

■ 2012 J1 リーグ戦

優勝	サンフレッチェ広島	賞金200,000,000円、Jリーグ杯(優勝銀皿)、日本サッカー協会会長杯、メダル、チャンピオンフラッグ
2位	ベガルタ仙台	賞金100,000,000円、Jリーグ杯(準優勝銀皿)
3位	浦和レッズ	賞金80,000,000円
4位	横浜F・マリノス	賞金60,000,000円
5位	サガン鳥栖	賞金40,000,000円

6位	柏レイソル	賞金20,000,000円
7位	名古屋グランパス	賞金10,000,000円

■2012 J2リーグ戦

優勝	ヴァンフォーレ甲府	賞金20,000,000円、Jリーグ杯
準優勝	湘南ベルマーレ	賞金10,000,000円、Jリーグ杯
3位	京都サンガF. C.	賞金 5,000,000円

■2012 Jリーグヤマザキナビスコカップ

優勝	鹿島アントラーズ	賞金100,000,000円、Jリーグカップ (チェアマン杯)、ヤマザキナビスコカップ (スポンサー杯)、メダル
2位	清水エスパルス	賞金50,000,000円、楯、メダル
3位	柏レイソル	賞金20,000,000円、楯
3位	FC東京	賞金20,000,000円、楯
MVP	柴崎 岳 (鹿島)	賞金1,000,000円、クリスタルオーナメント、ヤマザキナビスコ製品1年分
ニューヒーロー賞	石毛 秀樹 (清水)	賞金500,000円、クリスタルオーナメント、ヤマザキナビスコ製品1年分

-3 その他の表彰

■2012 Jユースカップ 第20回 Jリーグユース選手権大会

優勝	コンサドーレ札幌U-18	Jユースカップ、朝日・日刊杯、金メダル
準優勝	ガンバ大阪ユース	朝日・日刊杯、銀メダル
3位	横浜F・マリノスユース	朝日・日刊杯
	サンフレッチェ広島F. Cユース	朝日・日刊杯

2) プロサッカーに関する諸規約の制定

① プロサッカーに関する諸規約の制定

-1 Jリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂

定款の内容を補完することを目的とするリーグ規約及びそれに付随する諸規程の改訂を行った。

-2 Jリーグクラブライセンス交付規則及び諸規定の制定

アジアサッカー連盟加盟各国に2013年シーズンからの導入が求められている「クラブライセンス交付規則」につき、日本国内の規定としてJリーグクラブライセンス交付規則及び諸規定を制定のうえ、2012年2月1日より施行し、当該規則及び諸規定に基づく審査に合格したクラブに対し「Jリーグクラブライセンス」を交付した。

-3 規約規程集の発行

定款、規約及び諸規程、Jリーグクラブライセンス交付規則及び諸規定等を記載した規約規程集を作成し、サッカー関係者、マスコミ等を対象に有料で頒布した。

3) プロサッカー選手、監督及び審判員等の養成、資格認定及び登録

① プロサッカー選手、監督、コーチ及び審判員等の養成、資格認定及び登録

-1 プロサッカー選手の資格認定及び登録

本リーグのプロサッカー選手を対象に、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手契約書等による契約など資格要件に沿って選手登録を行った。

-2 Jリーグ アカデミーの推進

育成年代の一貫指導体制、リーグ戦、指導者養成、トレーニング環境、メディカル体制の充実を図り、そのノウハウを広く共有した。

- ・ 各クラブがホームタウンで実施している子どもたちの人間性や社会性を育む活動を推進し、地域とのネットワークづくりをサポートした。
- ・ 変動する現代社会に左右されがちな子どもたちの発育を医科学的に分析し、国民の心身の健全な発達に寄与するよう努めた。

(1) 選手一貫教育の実施

Jクラブのアカデミーの選手育成のため、サッカーの技術面だけでなく、子どもたちの問題解決能力や考える力を引き出す等、人間性や社会性を育む活動を行った。

研修会名 キャリアデザインサポートプログラム ([よのなか]科)
開催期日 6～11月(順次)
対象者 J1及びJ2会員26クラブのアカデミープレーヤー
会場 J1及びJ2会員クラブのクラブハウス他

(2) 研修会等の実施

Jクラブの育成責任者(アカデミーダイレクター)及びコーチの養成を目的とした研修会を実施した。また、世界で活躍する選手の育成を目的として、Jクラブのアカデミーよりポテンシャルの高い選手を選抜し、強化トレーニングを実施した。

・ Jリーグ アカデミーダイレクター マネジメント研修

開催日 10月29日(月)～30日(火)
対象者 J1及びJ2会員クラブの育成責任者
(アカデミーダイレクター)
会場 JFAハウス

・ Jリーグ アカデミーコーチ研修

開催方法 J1及びJ2会員を2グループに分け、年2回実施
開催期日 第1回 ①2月20日～2月24日
②3月5日～3月9日
第2回 ①5月14日～5月18日
②5月28日～6月1日
対象者 J1及びJ2会員クラブのアカデミーコーチ
会場 第2回①、第3回①新潟・ホテルベルナティオ
第1回①、②、第2回②、第3回②福岡・グローバルアリーナ

・ Jリーグ アカデミープレーヤー(U-13) トレーニングキャンプ

開催期日 4月26日～29日
対象者 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー
会場 大阪・J-GREEN堺

- ・ Jリーグ アカデミープレーヤー (U-14) トレーニングキャンプ
開催期日 6月7日～10日
対象者 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー
会場 大阪・J-GREEN堺

(3) 育成年代の試合環境整備の推進

1人でも多くの優秀な選手を輩出するために、育成年代の試合環境の整備を推進した。

(ア) Jユースカップ

高校生年代の第2種選手育成のため、J1会員18クラブ及びJ2会員22クラブ、一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟代表4クラブの参加によるJユースカップを無料で開催した。

大会名	2012 Jユースカップ 第20回 Jリーグユース選手権大会
開催期間	<u>予選リーグ</u> 10月20日(土)～11月11日(日) <u>決勝トーナメント</u> 1回戦 11月17日(土)・18(日) 2回戦 11月23日(金・祝) 準々決勝 11月25日(日) 準決勝 12月22日(土) 決勝 12月24日(月・祝)
開催場所	<u>予選リーグ</u> 主に各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等 <u>決勝トーナメント</u> 1回戦 味の素フィールド西が丘、葦崎陸上競技場、万博記念競技場、味の素スタジアム西競技場 2回戦 出場クラブホームスタジアム等 準々決勝 ウェーブスタジアム刈谷、万博記念競技場 準決勝 万博記念競技場 決勝 長居スタジアム
大会方式	<u>予選リーグ</u> 参加クラブを10グループに分け、各グループ内で1回戦総当たりリーグ戦 <u>決勝トーナメント</u> 予選リーグを通過した20チームに、一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟代表の4チームを加えた合計24チームによるトーナメント戦
出場クラブ	J1会員18クラブ、J2会員22クラブ 一般財団法人日本クラブユース連盟代表4クラブ(決勝トーナメントより)

成績	予選リーグ	
	Aグループ	1位 鹿島アントラーズユース 2位 ジェフユナイテッド千葉U-18
	Bグループ	1位 コンサドーレ札幌U-18 2位 大宮アルディージャユース
	Cグループ	1位 浦和レッズユース 2位 柏レイソルU-18
	Dグループ	1位 川崎フロンターレU-18 2位 アルビレックス新潟ユース
	Eグループ	1位 ガンバ大阪ユース 2位 横浜F・マリノスユース
	Fグループ	1位 横浜FCユース 2位 ジュビロ磐田U-18
	Gグループ	1位 清水エスパルスユース 2位 京都サンガF.C. U-18
	Hグループ	1位 サンフレッチェ広島F. Cユース 2位 アビスパ福岡U-18
	Iグループ	1位 セレッソ大阪U-18 2位 大分トリニータU-18
	Jグループ	1位 ヴィッセル神戸U-18 2位 愛媛FCユース
成績 (決勝トーナメント)	優勝	コンサドーレ札幌U-18
	準優勝	ガンバ大阪ユース
	3位	横浜F・マリノスユース サンフレッチェ広島F. Cユース

(イ) Jリーグ U-14

開催期間	4月～12月
開催場所	各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式	参加クラブを3ブロックに分け、ホーム&アウェイ方式による 2回戦総当たりリーグ戦を実施。全340試合
出場クラブ	J1会員、J2会員クラブのジュニアユースチームと一般財団 法人日本クラブユースサッカー連盟所属チーム (計48チーム)

(ウ) Jリーグ U-13

開催期間	4月～2013年2月
開催場所	各クラブのホームタウンにおけるスタジアム等
大会方式	参加クラブを5ブロックに分け、ブロック別に大会方 式を決定し、実施。全816試合 ・ホーム&アウェイ方式による2回戦総当たりリーグ戦 ・ホームorアウェイ方式による1回戦総当たりリーグ戦
出場クラブ	J1会員、J2会員クラブのジュニアユースチーム、一般財団 法人日本クラブユースサッカー連盟所属チーム、公益財団法人 日本中学校体育連盟所属の中学校チーム (計119チーム)

(4) 地域とのネットワークづくり活動の促進

各クラブが主体となり、サッカーを「する」「見る」「支える」というさまざまな参加スタイルを提案し、誰もがサッカーを楽しみ、サッカーが生涯スポーツとして定着していけるような普及活動を促進した。

(5) 試合分析等

育成年代の一貫指導体制の充実を図るために、育成年代の試合分析を行った。各年代の課題及び特徴をつかみ、コーチ養成の充実を図った。また、Jクラブのアカデミーの情報共有を促し、育成環境の整備を促進した。

-3 プロサッカーの監督及びコーチの養成及び登録

Jリーグ規約に従って、Jクラブの監督及びコーチの資格要件を確認し、Jリーグへの登録を行うとともに、Jクラブが新規に契約する外国人監督の資格審査申請の窓口となり、公益財団法人日本サッカー協会の承認を受け、Jリーグへの登録を行った。また、公益財団法人日本サッカー協会の各種指導者研修会、監督会議等を開催し、指導者の育成や技術指導を行った。

研修会名	2012（平成24）年度公益財団法人日本サッカー協会公認S級コーチ養成講習会
開催期日	8月～11月
対象者	公益財団法人日本サッカー協会が選定した指導者
会場	ナショナルトレーニングセンター他

-4 プロサッカーの審判員の養成及び登録

Jリーグの主催試合の審判員に対する資格要件に沿って、主審、副審を登録した。また審判員の技術向上を目的として各種研修会を実施した。

研修会名	主審研修会（4回）
開催期日	4月7日（土）・8日（日）※、6月3日（日）、9月1日（土）、2日（日）、10月13日（日） ※分散開催
対象者	Jリーグ担当主審
会場	東京・JFAハウス、神奈川・日産スタジアム、しんよこフットボールパーク、横浜市スポーツ医科学センター

研修会名	副審研修会（3回）
開催期日	5月12日（土）・13日（日）、6月10日（日）、11月10日（土） ※分散開催
対象者	Jリーグ担当副審
会場	東京・小石川運動場、神奈川・横浜市スポーツ医科学センター、しんよこフットボールパーク

研修会名	Jリーグ担当審判員合同研修会（2回）
開催期日	5月12日（土）・13日（日）※分散開催、11月10日（土）

対象者	Jリーグ担当審判員
会場	横浜市スポーツ医科学センター、東京・JFAハウス
研修会名	レフェリング分析
開催期日	J1・J2リーグ戦、Jリーグヤマザキナビスコカップ開催期間 (J1・2回、J2・15回、Jリーグヤマザキナビスコカップ・1回)
対象者	Jリーグ担当審判員
会場	各地
研修会名	プロフェッショナル契約レフェリーキャンプ
開催期日	4月～12月(14回)
対象者	プロフェッショナル契約レフェリー13名
会場	東京・JFAハウス、静岡・清水ナショナルトレーニングセンターJ-STEP
研修会名	審判員交換プログラム
相手国	イングランド
派遣期間	11月1日～11月14日
派遣審判員	Jリーグ担当審判員2名
受入期間	7月22日～8月7日
受入審判員	イングランド審判員2名
相手国	パラグアイ
派遣期間	6月9日～7月11日
派遣審判員	Jリーグ担当審判員3名
受入期間	6月14日～7月12日
受入審判員	パラグアイ審判員3名
相手国	中国
派遣期間	7月26日～7月29日
派遣審判員	Jリーグ担当審判員3名
相手国	タイ
派遣期間	6月22日～6月25日、9月13日～16日
派遣審判員	Jリーグ担当審判員6名

-5 レフェリング分析のインターネット配信

Jリーグ担当審判員のレフェリングの質を高めることを目的に、Jリーグ担当審判員に向けてインターネットを使用した情報配信を行った。

② マッチコミッショナーの任命

サッカーの試合の運営、競技、スタジアム施設等、試合における全てを管理するマッチコミッショナーを任命し、心得、任務に伴う諸事項の最終確認のため研修会を実施した。

研修会名	Jリーグマッチコミッショナー研修会
開催期日	7月16日(月・祝)
対象者	2012 Jリーグマッチコミッショナー
会場	東京・JFAハウス

4) プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

① プロサッカーの試合の施設の検定及び用具の認定

-1 スタジアム施設の検査・公式試合開催指定スタジアムの指定

高水準のサッカーの試合及び試合運営を行うため、スタジアム検査要項に基づき、使用予定のスタジアムを検査し、公式試合開催指定スタジアムを指定した。

札幌ドーム、札幌厚別公園競技場、ユアテックスタジアム仙台、NDソフトスタジアム山形、福島県営あづま陸上競技場、県立カシマサッカースタジアム、ケーズデンキスタジアム水戸、栃木県グリーンスタジアム、正田醤油スタジアム群馬、埼玉スタジアム2002、NACK5スタジアム大宮、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場、フクダ電子アリーナ、日立柏サッカー場、味の素スタジアム、国立競技場、味の素フィールド西が丘、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場、町田市立陸上競技場、等々力陸上競技場、日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場、Shonan BMWスタジアム平塚、山梨中銀スタジアム、松本平広域公園総合球技場(アルウィン)、東北電力ビッグスワンスタジアム、富山県総合運動公園陸上競技場、アウトソーシングスタジアム日本平、エコパスタジアム、ヤマハスタジアム(磐田)、名古屋市瑞穂陸上競技場、豊田スタジアム、岐阜メモリアルセンター長良川競技場、長良川球技メドウ、京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場、万博記念競技場、大阪長居スタジアム、キンチョウスタジアム、ホームズスタジアム神戸、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場、とりぎんバードスタジアム、Kankōスタジアム、岡山県津山陸上競技場、広島ビッグアーチ、鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム、ニンジニアスタジアム、レベルファイブスタジアム、北九州市立本城陸上競技場、ベストアメニティスタジアム、佐賀県総合運動場陸上競技場、熊本県民総合運動公園陸上競技場(KKWING)、熊本市水前寺競技場、大分銀行ドーム、鹿児島県立鴨池陸上競技場

-2 用具の認定

高水準のサッカーを行うため、モルテン製『SPEEDCELL®』を公式試合の試合球として認定を行った。

5) 放送等を通じたプロサッカーの試合の広報普及

① プロサッカーの試合のテレビ放送等に関する契約

-1 テレビ放送等に関する契約

リーグ戦その他公式試合のテレビ放送について、スカパーJSAT(株)、NHK、TBS等と放送権契約を行った。

6) サッカー及びサッカー技術に関する調査、研究及び指導

① 各種委員会等による研修の実施

-1 管理スタッフ教育のための研修

管理スタッフの教育・育成のため、各種委員会等で必要に応じ、研修を行った。

研修会名	ゼネラルマネージャー講習会（フォローアッププログラム）
開催期日	11月16日（金）
対象者	J1及びJ2会員クラブの経営に携わる者の中から選出された11名のうち、希望者
会場	東京・JFAハウス

-2 サッカーに関する情報収集のための研修

サッカー及びそれに伴う事業に関する情報収集のため、国内外において研修や調査を実施した。

② ドーピング検査の実施

-1 ドーピング検査の実施

選手が薬物の使用等により不正に競技能力を高めることを防止するため、Jリーグの公式試合においてドーピングテストを実施した。

③ サッカーの施設充実及び運営に関する研究

-1 セキュリティ研究会の開催

試合運営に必要な危機管理、安全管理に関する情報の共有及び調査研究を目的とし、研究会を開催する。

-2 スタジアム等サッカーの施設整備の推進

クラブや地方公共団体等が今後サッカースタジアムを設置または改修しようとする際の調査、企画等に協力し、具体的な助言、提案を行った。

④ ファン リレーションズ促進を狙いとした施策の実施

スタジアムへの集客を中心とした既存ファンの満足度向上及び新規ファン獲得を狙いとした施策を企画立案、実施した。

また、Jリーグの試合会場で、専用の非接触ICカードや二次元コード入りのチケットを専用端末にかざしてスタジアムに入れる「ワンタッチパス」サービスにより、観客サービスの向上につながる環境整備を行った。より機能を向上させるため「ワンタッチパス」サービスのシステムリニューアルを行い、クラブに対する説明会を実施した。

会議名	ワンタッチパス説明会
開催期日	11月21日（水）
対象者	J1およびJ2会員クラブのワンタッチパス担当者
会場	東京・国立競技場 大会議室

⑤ マーケティングの分野における調査研究及び研修の実施

-1 マーケティング調査研究の実施

Jリーグ及びJクラブのマーケティング活動を支援・促進するための調査研究を行った。

調査内容	スタジアム観戦者調査
調査期間	5月～10月

調査協力者 仲澤 眞、高橋 義雄（以上、筑波大学）、原田 宗彦（早稲田大学）、
藤本 淳也（大阪体育大学）
調査実施場所 リーグ戦開催スタジアム

⑥ リーグ構造に関する調査、研究

J2と日本フットボールリーグ（JFL）間の入れ替えを実施し、J2リーグ戦で最下位だったFC町田ゼルビアがJFLに降格した。なお、当該入れ替えの実施に際し、「Jリーグ理念推進費用規程」を制定し、2012年11月20日に施行した。また「JFA/Jリーグ将来構想委員会」において、Jリーグの構想や構造に関する調査研究を行った。

⑦ クラブライセンス制度の導入及び実施

－1 クラブライセンス交付規則及び諸規定の策定、施行

クラブライセンス制度の2013シーズンからの導入に向け、交付規則及び諸規定を策定のうえ、2012年2月1日より施行し、当該規則及び諸規程に基づく審査に合格したクラブに対し、「Jリーグクラブライセンス」を交付した。

－2 クラブのJリーグ会員資格審査、経営状態の調査及び指導

クラブライセンス制度に基づき、クラブのJリーグ会員資格を審査すると共にクラブ経営に関する調査及び分析を行い、健全なクラブ経営を確立するための指導を行った。

－3 準加盟クラブの資格審査及び指導

将来Jリーグ会員になることを具体的な目標とするクラブより申請を受け、審査した結果、一定の基準を満たしたと判断されるクラブを準加盟クラブとして認定した。なお、準加盟クラブに対しては、健全な経営を確立するための指導を行った。また、Jリーグ準加盟を目指すクラブ向けにセミナーを開催した。

■既認定準加盟クラブ：S.C.相模原、AC長野パルセイロ、カマタマーレ讃岐

■J2からの降格にともない準加盟となったクラブ：FC町田ゼルビア

■Jリーグ入会クラブ：V・ファーレン長崎

セミナー名 Jリーグ準加盟を目指すクラブ向け「Jリーグセミナー」

開催期日 8月23日（木）

対象者 Jリーグ準加盟クラブへの申請を予定しているクラブ関係者等

会場 東京・JFAハウス

7) プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

① プロサッカー選手、監督及び関係者の福利厚生事業の実施

－1 プロサッカー選手を対象とした災害補償制度の実施

プロサッカー選手を対象に、福利厚生事業の一環として死亡及び後遺障害に対し、Jリーグ災害補償制度に基づくファミリー労働災害補償保険の付保を行った。

－2 プロサッカー選手のキャリア教育

Jリーグキャリアサポートセンターが、プロサッカー選手が自らのキャリアを築くための環境整備を行い、キャリア形成支援活動を行った。

・クラブの課題に応じた選手教育・研修を企画・展開した。具体的には若手選手対象にスポンサーインターンシップやメディアトレーニング、ユース選手対象にキャリア・デザイン・サポートプログラムや面接トレーニングを実施した。

- ・ トップチーム選手（全員・若手）、アカデミー選手（ユース）対象に「OB交流会」を開催し、Jリーグ選手OBが各クラブを回り、現役生活～引退～セカンドキャリアについて自らの体験を語ることで、選手のキャリア形成についてアドバイスを行った。
- ・ Jリーグ各クラブの持つ選手教育ノウハウをナレッジマネジメントすることで、選手教育システムの確立を目指した。
- ・ 選手向け就学支援制度を策定・運営し、大学進学、eラーニング、英会話など学ぶ意欲の高い選手に対してサポートを行った。
- ・ Jリーグ登録抹消選手のセカンドキャリア支援として、キャリアカウンセリングを実施した。

8) サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

① サッカーに関する国際的な交流及び事業の実施

-1 国際大会への参加

■ AFCチャンピオンズリーグ2012

アジアサッカー連盟主催のAFCチャンピオンズリーグ2012に、柏レイソル（2011 Jリーグ優勝）、名古屋グランパス（2011 Jリーグ準優勝）、ガンバ大阪（2011 Jリーグ3位）及びFC東京（第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝）がグループステージから出場した。

グループマッチ： グループE

日程	対戦			スタジアム
4月3日 (火)	ガンバ大阪(日本)	3 vs 1	ブニョドコル(ウズベキスタン)	万博記念競技場
4月18日 (水)	ブニョドコル(ウズベキスタン)	3 vs 2	ガンバ大阪(日本)	JARスタジアム
5月2日 (水)	浦項スティーラーズ(韓国)	2 vs 0	ガンバ大阪(日本)	スティールヤード
5月16日 (水)	ガンバ大阪(日本)	0 vs 2	アデレード・ユナイテッド(オーストラリア)	万博記念競技場

グループマッチ： グループF

日程	対戦			スタジアム
4月4日 (水)	北京国安(中国)	1 vs 1	FC東京(日本)	北京工人体育場
4月17日 (火)	FC東京(日本)	3 vs 0	北京国安(中国)	東京スタジアム
5月2日 (水)	FC東京(日本)	4 vs 2	ブリスベン・ロアー(オーストラリア)	国立競技場
5月16日 (水)	蔚山現代(韓国)	1 vs 0	FC東京(日本)	蔚山文殊フットボールスタジアム

グループマッチ： グループG

日程	対戦			スタジアム
4月3日 (火)	天津泰達(中国)	0 vs 3	名古屋グランパス(日本)	天津泰達球場
4月18日 (水)	名古屋グランパス(日本)	0 vs 0	天津泰達(中国)	名古屋市瑞穂陸上競技場
5月1日 (火)	城南一和(韓国)	1 vs 1	名古屋グランパス(日本)	炭川スポーツコンプレックス
5月15日 (火)	名古屋グランパス(日本)	3 vs 0	セントラルコースト・マリナーズ(オーストラリア)	名古屋市瑞穂陸上競技場

グループマッチ： グループH

日程	対戦			スタジアム
4月4日 (水)	柏レイソル(日本)	0 vs 0	広州恒大(中国)	日立柏サッカー場
4月17日 (火)	広州恒大(中国)	3 vs 1	柏レイソル(日本)	広州天河体育中心
5月1日 (火)	柏レイソル(日本)	1 vs 0	ブリーラム・ユナイテッド(タイ)	日立柏サッカー場
5月15日 (火)	全北現代モータース(韓国)	0 vs 2	柏レイソル(日本)	全州ワールドカップスタジアム

ラウンド16 5月29日(火)、30日(水)

日程		対戦				スタジアム	
5月29日	(火)	アデレード・ユナイテッド(オーストラリア)	1	vs	0	名古屋グランパス(日本)	ハインドマーシュスタジアム
5月30日	(水)	蔚山現代(韓国)	3	vs	2	柏レイソル(日本)	蔚山文殊フットボールスタジアム
		広州恒大(中国)	1	vs	0	FC東京(日本)	広州天河体育中心

-2 国際親善試合の実施

Jリーグが主催となり、サッカー技術の向上のみならず、サッカーを通じて国際的な交流、及び親善を図るため、国際親善試合を開催する。

-3 育成年代の国際交流試合の実施

Jクラブのアカデミーより選手を選抜し、サッカー技術の向上のみならず、サッカーを通じて国際的な交流及び親善を図るため、海外での試合並びに海外チームを招聘しての試合を実施した。

(1) U-16 Jリーグ選抜韓国キャンプ

U-16 Jリーグ選抜チームを編成し、韓国キャンプを行った。

期間 8月20日～8月27日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 韓国 蔚山

戦績
 △ U-16 Jリーグ選抜 (2-2) 浦項スティーラーズ
 ● U-16 Jリーグ選抜 (0-6) 蔚山現代ホランイ
 ○ U-16 Jリーグ選抜 (3-1) 鶴城高校
 ● U-16 Jリーグ選抜 (2-5) 鶴城高校
 △ U-16 Jリーグ選抜 (3-3) 釜山アイパーク

(2) U-15 Jリーグ選抜ブラジルキャンプ

U-15 Jリーグ選抜チームを編成し、ブラジルキャンプを行った。

期間 8月24日～9月3日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 ブラジル

大会 第15回 日伯友好カップ

戦績 予選リーグ敗退(2勝1敗1分)

●○ U-15 Jリーグ選抜 (2-0) ボアヴィスタ
 ●○ U-15 Jリーグ選抜 (2-0) サントス
 ●△ U-15 Jリーグ選抜 (2-2) クルゼイロ
 ● U-15 Jリーグ選抜 (0-1) アトレチコミネイロ

【トレーニングマッチ】

○ U-15 Jリーグ選抜 (3-0) エスコーラ・ジーコ10

(3) U-14 Jリーグ選抜中国キャンプ

U-14 Jリーグ選抜チームを編成し、中国キャンプを行った。

期間 8月14日～8月28日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 中国

大会 2012全国青少年男子サッカー選手権少年甲組(U-15)

戦績 第3位(6勝4敗)

- U-14 J リーグ選抜 (1-5) 長春亜泰
- U-14 J リーグ選抜 (0-0/PK4-2) 杭州绿城
- U-14 J リーグ選抜 (3-1) 武漢選抜
- U-14 J リーグ選抜 (0-1) 広東体彩
- U-14 J リーグ選抜 (2-0) 雲南選抜
- U-14 J リーグ選抜 (3-2) 広州選抜
- U-14 J リーグ選抜 (1-0) 上海選抜
- U-14 J リーグ選抜 (1-0) 江蘇江陰高級中学
- U-14 J リーグ選抜 (0-2) 広州選抜
- U-14 J リーグ選抜 (4-0) 湖北選抜

(4) U-13 J リーグ選抜タイキャンプ

U-13 J リーグ選抜チームを編成し、タイキャンプを行った。

期間 7月29日～8月3日

対象 J1及びJ2会員クラブのアカデミープレーヤー

場所 タイ

大会 トレーニングマッチ

戦績 (3勝)

- U-13 J リーグ選抜 (2-0) ムアントンユナイテッド
- U-13 J リーグ選抜 (6-1) チョンブリ FC
- U-13 J リーグ選抜 (2-1) U-14 タイ代表

9) サッカーをはじめとするスポーツの振興及び援助

① Jリーグ設立趣旨の具現化の推進

-1 各クラブの活動状況の実状及び計画に関する調査とそのフォロー

Jリーグの設立趣旨の具現化に向けた各クラブの活動状況の実状及び計画を調査し、それに基づいて、各クラブが関連自治体及び地域サッカー協会等と一体となって『地域に根ざしたスポーツクラブ作り』を行うよう指導するとともに、各クラブに対しその活動のための支援を行った。併せて、Jリーグ設立趣旨の全国への浸透を図った。

-2 地域スポーツ振興への支援

各クラブが主体となり、活動区域においてその地域のスポーツ振興のためにサッカー（一部除く）以外のスポーツを開催する場合、1行事につき100万円を上限として支援した。

クラブ名	行事名	対象種目	形式	参加対象者	開催期間	場所
札幌	2012 コンサド ーレ札幌スキ ーアカデミーin KIRORO	スキー	教室・大 会	小中学生	4月14日 (土)、15日 (日)	キロロスキーリゾート
仙台	ベガルタ仙台・ バリアフリーサ ッカー教室	障がい者 サッカー (電動車 椅子サッ カー、バ リアフ リーサッ カー、プ ラ インドサ ッカー、 精神障 がい者サ ッカー)	教室	宮城県内の障がい者	5月～2013 年2月	宮城県内

仙台	ベガルタ仙台 介護予防教室	健康体操 教室、栄養 講習会	教室	宮城県内の高齢者	5月～2013 年3月	宮城県内
山形	女子駅伝支援 事業	駅伝	教室、チ ーム	教室：小学5、6年生～中学生	4月1日～ 2013年3月 31日	山形県内、他全国
	モンテディオ山 形 さわやか いきいきフィッ トネス教室	トレーニ ング、ウ ォーキン グ、グラ ウンドゴ ルフ、体 操、体力 測定など	教室	60歳以上	5月～12月	やまがたスポーツパ ーク
鹿島	第14回鹿島ア ントラーズ杯ミ ニバスケットボ ール大会	バスケット ボール	大会	小学生	12月8日 (土)、 9日(日)	茨城県鹿嶋市立カシマ スポーツセンター
水戸	水戸ホーリー ホック 女子ラ グビーチーム 強化プロジェク ト	女子ラグ ビー	チーム、 教室	女子小中高生	5月～2013 年3月(月2 回以上)	水戸市サッカー・ラグ ビー場(ツインフィール ド)ほか
	第6回ホーリー カップID サッカ ーフェス	障がい者 サッカー (知的障 がい者)	大会	知的障がい有する者で INAS-FID 日本代表及び関東FID トレセンのメンバーに選出されて いない者(GKを除く)で構成され ているチーム(1チーム8名以上)	6月2日 (土)、7月7 日(土)	予選 笠松運動公園補 助競技場、球技場 決勝 ホーリーピッチ
	水戸ホーリー ホックチアリー ディングスкуль 事業	チアリー ディング	教室	未就学児～小学生	4月～2013 年3月	mimo カルチャーセンタ ー
	水戸ホーリー ホックアイスホ ッケーチーム 強化プロジェク ト	アイスホ ッケー	チーム	18歳以上	4月～2013 年3月(月2 回以上)	冬：笠松運動公園スケ ートリンク 春～秋：笠松運動公園 多目的グラウンド、補 助陸上競技場
草津	介護予防事業 「ザスバ健康 づくり教室」	体力測 定、栄養 指導、運 動指導	教室	60歳以上の健康な方	7月～12月 (予定)	前橋市市民体育館、他
浦和	レッズランド テニススкуль ル	テニス	教室	キッズ(年中・年長)～一般	通年(週3 回)	レッズランド内テニス コート
	レッズランド ランニングスкуль ル	ランニ ング	教室	レッズランド会員および小学3年 生以上の地域住民など	通年(週1～2 回) ※8月はなし	レッズランドハウス 2F およびフィールド周辺 エリア
大宮	第5回大宮ア ルディージャ ORANGE HAPPY SMILE CUP(埼玉県知 的障がい者サ ッカー大会)	障がい者 サッカー (知的障 がい者)	大会	13歳以上の知的障がい者で療育 手帳の交付を受け、県内に在住・ および県内厚生援護施設に入 所・通所・通学している者。	7月28日 (土)、29日 (日)	さいたま市秋葉の森総 合公園サッカー場(7 月28日)NACK5スタジ アム大宮(7月29日)

大宮	大宮アルディージャ・シニア向けストレッチ教室	ストレッチ	教室	60歳以上	6月6日(水)、6月14日(木)、6月29日(金)、7月3日(火)、7月17日(火)、7月26日(木)、9月6日(木)、9月20日(木)、9月28日(金)、11月7日(水)	さいたま市内 各公民館
千葉	サッカー&フットボール	サッカー、フットボール	大会	小学生男女	8月23日(木)	フクダ電子スクエア
	第12回 夏休み親子スポーツ合宿	サッカー、キャンプ、ゴルフ	合宿	小学生とその父母	7月29日(日)、30日(月)	ファミリーオ館山、館山カントリー倶楽部
F 東京	FC 東京 バレーボールチームの年間活動	バレーボール	チーム	一般	通年(4月1日～2013年3月31日)	東京都内(普及活動)
東京 V	東京ヴェルディバレーボールチーム	バレーボール	チーム	一般	通年(4月1日～2013年3月31日)	東京都内
	東京ヴェルディトライアスロンチーム	トライアスロン	チーム	一般	通年(4月1日～2013年3月31日)	アクラブ稲城、その他
	第8回東京ヴェルディ稲城グリーン駅伝	駅伝	大会	各種	5月6日(日)	稲城中央公園周辺(総合グラウンド)
町田	FC 町田ゼルビア介護予防教室(いつも自分の足で歩いていこう!)	ストレッチ・筋力トレーニング	教室	60歳以上	7/14(土)、7/28(土)、8/11(土)、8/25(土)、9/8(土)、9/19(水)、10/13(土)、10/21(日)、11/10(土)、11/21(水)、12/8(土)、12/22(土)	小野路公園小野路グラウンド
川崎 F	青空健康教室	ウォーキング、ピラティス、ヨガ、グラウンドゴルフ	教室	地域で生活する女性、中高齢者	4月9日～2013年3月29日(複数コースあり)	フロンタウンさぎぬま
横浜 FM	横浜 F・マリノス マリンスポーツチャレンジ	パドボ、アウトリガーカヌー、スイムレース、ウインドサーフィン、など	大会、教室	小学生～一般	5月より定期開催	材木座海岸、由比ガ浜海岸ほか

湘南	湘南ベルマーレビーチバレーチーム	ビーチバレー	大会、教室、チーム	【チーム】選手 【大会・教室】小学生～一般	通年 (4月1日～2013年3月31日)	湘南ひらつかビーチセンター ほか
	2012年トライアスロン選手強化とトライアスロン、ラン、バイク、スイムのスクール指導	トライアスロン	教室、チーム	【チーム】選手 【大会・教室】小学生～一般	4月1日～12月31日	湘南ひらつかビーチセンター、馬入ふれあい公園、荻野運動公園 ほか
	湘南ベルマーレ 女子ソフトボールチーム 2012 およびスクール指導	ソフトボール	チーム、教室	【チーム】選手 【大会・教室】小中学生	通年 (4月1日～2013年3月31日)	厚木市を中心としたホームタウン各市町およびリーグ戦開催地
	2012年 オーシャンスイムスクール	オーシャンスイム	教室	プールで100m以上泳げる高校生以上の健康な男女	5月12日～10月20日 (毎週土曜日)	湘南ひらつかビーチパーク
	ベルマーレカップ2012 第23回小学生駅伝競走大会	駅伝	大会	ホームタウン内の小学4年生～6年生(保護者の承諾書が必要)	12月8日(土) 予備日 12月18日(日)	平塚市総合公園
	2012年 健康づくり教室	ハイキング、ウォーキング、ストレッチなど	教室	中高齢者	4月1日～2013年3月31日(4会場・週1回づつ)	馬入アリーナ体育館、厚木市東町体育館、小田急百貨店屋上、上府中公園 ほか
	2012 湘南ベルマーレロードレーシングチームおよびスクール指導	ロードレース	チーム、教室	【チーム】選手 【教室】キッズ、小学校4年生～一般	通年 (4月1日～2013年3月31日)	馬入ふれあい公園他
甲府	第3回ふれあいサッカー教室	障がい者サッカー(精神障がい者)	教室	精神障がい者	9月22日(月祝)	山梨大学医学部グラウンド
	ヴァンフォーレ甲府知的障がい者サッカー教室	障がい者サッカー(知的障がい者)	教室	知的障がい者は療育手帳の交付を受けた者あるいはその取得の対象に準ずる障がい害のある者	4月～12月	山梨県立かえで支援学校グラウンド、山梨学院大学グラウンド
	キャメリア ヘルスアップウォーキング	ウォーキング、体操、軽運動	教室	県内60歳以上	5月2日～12月5日 全10回	昭和町押原公園グラウンド
	シニアわくわく健康運動教室	ストレッチ、体操、スポーツ観戦	教室	甲斐市、中央市、都留市に在住の60歳以上	9月～10月	甲斐市敷島運動公園、中央市山梨大学医学部グラウンド、都留市多摩川公園グラウンド
新潟	2012年アルビレックス新潟ゲートボール講習会	ゲートボール	教室	中高齢者、小学生 ほか	5月～12月 ※8月は除く	エスフリー・フットサルコート、各学校、西区のゲートボール場
	2012年アルビレックス新潟杯争奪ゲートボール大会	ゲートボール	大会	新潟市を中心とし、県下各地のゲートボールチーム	6月12日(火)	東北電力スワンフィールド
	2012年アルビレックス新潟ゲートボール講習会(新潟大学)	ゲートボール	教室	新潟大学の学生	7月3日、10日、17日、24日(4回)	新潟大学体育館

新潟	アルビレックス新潟×新潟アルビレックスRC 合同ランニング&ウォーキングクリニック	ランニング、ウォーキング	教室	中学生以上の一般市民ランナー、ランニング初心者	4月～12月 (週1回、5月～9月は県内3会場、各5回シリーズ開催予定あり。全52回)	東北電力ビッグスワンスタジアムほか新潟県内各地
	アルビレックス新潟 フープクリニック	バスケットボール	教室	経験者、未経験者、指導者	7月～12月	新潟市東総合スポーツセンターほか
	2012年 アルビレックス新潟×新潟アルビレックスRC 若返り健康運動&健康いきいきウォーキング～健康いきいきキャラバン隊～	ウォーキング、健康づくり運動	教室	中高齢者	9月～10月	新潟県健康づくりスポーツ医学センターほか新潟県内4会場
磐田	第15回ジュビロ磐田メモリアルマラソン	マラソン	大会	小学生～一般	11月18日(日)	ヤマハスタジアム
	ジュビロジュニアチアスクール	チアリーディング	教室	小学生～高校生の女子	4月1日～2012年3月(40回予定)	サーラプラザ浜松／ヤマハスタジアム
京都	第36回京都府家庭婦人バレーボール連盟 京都サンガ F.C.カップ 秋季リーグ戦	バレーボール	大会	京都府家庭婦人バレーボール連盟登録チーム	9月30日、10月1日、9日、11日、12日、16日、18日、28日	山城総合運動公園体育館、向日市民体育館、伏見港公園総合体育館
C大阪	セレソ大阪 元気やでえ！プログラム『イキイキはつらつ塾』in 長居	ヨガ、ストレッチ、体操、ウォーキング など	教室	市内在住のシニア	4月～3月(計24回予定)	長居スタジアム、キンチョウスタジアム、長居公園、東急スポーツオアシス鶴ヶ丘店
	夢・授業 キッズスポーツアカデミー	バレーボール、バスケットボール、フットサル、サッカー	教室	小学生	9月15日(土)	大阪市立中央体育館
神戸	ヴィッセルカップ バドミントン チャレンジ 2012	バドミントン	大会	兵庫県内在住の中学1・2年生の男女	8月5日(日)	神戸夙川学院大学体育館
神戸	89 フェスピック 神戸記念日本障がい者サッカー親善大会	障がい者サッカー(知的障がい者、四肢障がい者等)	大会	障がい者チーム、神戸市内ママさんチーム等	9月8日(土)、9日(日)	神戸市しあわせの村

広島	平成 24 年度 スポーツスク ールの開催	バドミント ン、バレ ーポー ール、バス ケットボ ール、テ ニス	教室	小中学生の男女	4 月 1 日～ 2011 年 3 月 31 日(計 42 回)	ひろぎんの森、 広島県スポーツ会館
	サンフレッチェ 広島 グラウン ド・ゴルフ大会	グラウン ドゴルフ	大会	グラウンド・ゴルフ愛好者	10 月 20 日 (土)	広島広域公園陸上競 技場(広島ビッグアー チ) 第 1、第 2 球技場
愛媛	愛媛 FC 精神 障がい者フット サル教室&フ ットサル大会	障がい者 フットサ ル(精神 障がい 者)	大会、教 室	精神障がい者(医療機関で入院・ 通院治療中である者)	4 月～2012 年 2 月(月 2 回)	愛媛フットサルパーク
福岡	アビスパ福岡 視覚障がい者 サッカー支援 活動	障がい者 サッカー (視覚障 がい者)	チーム、 指導者派 遣	視覚障がい者	通年 (4 月 1 日～ 2013 年 3 月 31 日)	福岡県立福岡視覚特 別支援学校 ほか
	アビスパ福岡 タグラグビーフ ェスタ	タグラグ ビー	大会	県内小学生、小学 4 年生以上の 児童	10 月 8 日(月) 予定	福岡フットボールセン ター
	第 6 回アビス パ杯争奪ドッジ ボール大会(ア ビドッジ)	ドッジボ ール	大会	各校区子ども会の小学生会員	10 月 21 日 (日) 予定	福岡市東区東体育館
大分	大分トリニータ 知的障がい者 サッカーリー グ、教室	障がい者 サッカー (知的障 がい者)	大会、教 室	【リーグ】知的障がいのある選手 によって構成されたチームで大 分県に本拠地を置いているチ ーム。【教室】臼杵養護学校・宇佐養 護学校・大分県盲学校	通年 (4 月 1 日～ 2013 年 3 月 31 日)	大分県サッカー協会ス ポーツ公園人工芝グラ ウンド ほか
	大分トリニータ 高齢者水中介 護予防	ストレ ッチ、水 中運 動、体 力測定	教室	60 歳以上の男女	5 月～10 月 (月 2 回・計 12 回)	スポーツクラブルネサ ンス大分

-3 地域ボランティア活動への支援

各クラブが主体となり、公益財団法人さわやか福祉財団の協力で活動区域の老人ホームを訪問するボランティア活動「サッカーさわやか広場」の支援を行った。

-4 スタジアムおよび総合型スポーツクラブとしての基盤等の整備

各クラブと関連自治体および地域サッカー協会等が一体となった地域スポーツ活動の基盤整備にあたり、スポーツ振興くじ助成金の活用等の促進を行う。

10) 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

① 機関紙の発行等を通じたプロサッカーに関する広報普及

-1 プロサッカーの試合開催の告知

プロサッカーの試合の日時、対戦カード、開催会場等の告知をテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体を通じて行った。また、リーグ戦のプロモーションビデオを製作し、テレビ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知した。

-2 Jリーグの理念の告知

Jリーグの理念を伝えることを目的としたメッセージビデオ及びポスターを製作し、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット、スタジアムの大型映像等の媒体を通じて告知し、一般大衆に理念を浸透させた。また、Jリーグ百年構想のイメージキャラクター「Mr.ピッチ」を地域スポーツの振興活動に派遣し、PRを行った。

-3 Jリーグに関する広報誌、DVD(ビデオ)の発行

Jリーグ及び各クラブの動向をサッカー関係者、メディア等に伝えることを目的とした広報誌「Jリーグニュース」、「Jリーグニュースプラス」、「Jリーグプロフィール」を発行し、上記関係者に無償配布した。

-4 Jリーグに関する海外向けの広報誌の発行及びJリーグ公式および公認サイトによる情報提供

Jリーグの活動、Jリーグにおける外国籍選手の活躍等の情報を海外のメディア、サッカー関係者に伝えることを目的とした英語版「Jリーグプロフィール」を発行した。さらに、Jリーグの国際的な認知度を高めることを目的としてインターネット(英語版)にJリーグの情報を提供した。

-5 Jリーグに関する出版物の発行

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、大会趣旨、日程及びスタジアム紹介等プロサッカーに関する情報を掲載した「Jリーグオフィシャルファンズガイド2011」及び前年度の公式試合の記録集である「Jリーグイヤーブック2011(公式記録集)」を発行した。
- (2) 「Jリーグ公式DVD」(株)Jリーグメディアプロモーション発行)、「Jリーグカレンダー」(ジェイリーグフォト(株)発行)等の監修、Jリーグ主催試合の公式プログラム等の発行を行った。

-6 Jリーグに関する情報サービス

- (1) Jリーグに関するインフォメーション活動の一環として、日程、チケット販売クラブ情報及びその他プロサッカーに関する情報サービスをインターネット公式ホームページ(委託先:(株)Jリーグメディアプロモーション)及び「J's GOAL(インターネット)」(委託先:(株)Jリーグメディアプロモーション)を通じて行った。
- (2) 「Jリーグオフィシャルファンズガイド2011」及び「Jリーグイヤーブック2011(公式記録集)」を主要メディアに無償で配布した。

-7 Jリーグに関する活動についての説明会の実施

Jリーグの理念及び活動、またサッカーという競技をメディア関係者により深く理解してもらうために各主要地域において懇談会を実施した。

11)その他目的を達成するために必要な事業

① プロサッカーに関するパートナー、スポンサー及びサプライヤー契約

-1 パートナー、スポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグの定款目的に賛同する企業等を対象に、Jリーグのパートナー、スポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。契約締結企業は以下のとおり。

■ Jリーグトップパートナー

カルビー(株)、キヤノン(株) / キヤノンマーケティングジャパン(株)、

- (株) コナミデジタルエンタテインメント、(株) アイテム、日本コカ・コーラ (株)、
日本マクドナルド (株)、(株) ジェーシービー
- Jリーグ百年構想パートナー
朝日新聞社
 - Jリーグフェアプレーパートナー
東京エレクトロン (株)
 - リーグカップスポンサー
ヤマザキナビスコ (株)
 - スーパーカップスポンサー
富士ゼロックス (株)
 - Jリーグオフィシャルエクイップメントパートナー
アディダスジャパン (株) / (株) モルテン
 - Jリーグオフィシャルサプライヤー
ジョンソン・エンド・ジョンソン (株) ビジョンケアカンパニー
 - Jリーグオフィシャルブロードキャスティングパートナー
スカパー J S A T (株)
 - スポーツ振興パートナー
独立行政法人日本スポーツ振興センター
 - Jリーグオフィシャルチケッティングパートナー
ぴあ (株)
 - 90° システム広告スポンサー
日本コカ・コーラ (株)
 - ユニフォームサプライヤー
(株) アシックス、(株) アスレタ、アディダスジャパン (株)、(株) ウインスポーツ、
(株) エスエスケイ、(株) カレッジリーグ、(株) ゴールドウイン、(株) デサント、(株)
ドーム、(株) ナイキジャパン、プーマジャパン (株)、(株) フェニックス、(株) ボ
リューム、ミズノ (株)、ヨネックス (株)、(株) ロイヤル、(株) ワコール

② 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

-1 共同事業に関するスポンサー及びサプライヤー契約

Jリーグと共同事業を行う企業とともにJリーグの定款目的に賛同する企業を対象に、
Jリーグのスポンサー及びサプライヤーとしての交渉及び契約を行った。

③ プロサッカーに関する商標等の登録、管理及びそれらを使用した商品の製作販売

-1 商標の登録・管理

Jリーグに関するマーク、デザイン等を保護するため、商標登録を行い、管理した。

-2 Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作販売

Jリーグのマーク、デザイン等を使用した商品の製作、販売を(株) Jリーグエンタープ
ライズ等を通じて行った。

-3 データ事業

公式試合を分析、個々のプレー等をデータベース化し、各種データを編集、販売した。
(ライセンス契約先：(株) Jリーグメディアプロモーション)

④ コンプライアンス体制の構築

-1 Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス体制の確立に向けた研究

Jリーグ職員を対象としたコンプライアンス関連規定を策定し、コンプライアンス相談窓口を設置した。Jリーグ関係者を対象としたコンプライアンス憲章、規程、マニュアル策定を視野に入れたコンプライアンス協議会を開催した。全てのJクラブにコンプライアンス担当者を設置し、その連絡先を集約管理した。また、暴力団等排除宣言に基づくJリーグ規約への暴排条項の追加と、公式試合における暴排イベントを行ったほか、所管警察とJクラブが共同した暴排セミナーの実施を支援し、コンプライアンスの機運醸成に努めた。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業

-1 Jヴィレッジ及びJリーグ関連3社への運営参画

福島県にあるサッカートレーニング施設・Jヴィレッジ（株）日本フットボールヴィレッジの運営に公益財団法人日本サッカー協会と共同で参画することにより、日本サッカーの強化・普及に寄与した。また、Jリーグ関連3社への運営に参画することにより、Jリーグ経営基盤の拡大、サッカーの普及及びスポーツ振興に寄与した。

（なお、Jヴィレッジは、福島第一原子力発電所事故に伴い、2011年3月15日以降スポーツ施設としては全面閉鎖し、国が管理する原発事故の対応拠点となっている。）

■株式保有（全株式の20%以上）をしている営利企業

名称： (株) ジェイリーグエンタープライズ
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階
資本金： 36,000,000円
事業内容： Jリーグ、Jクラブ、及びサッカー日本代表のロゴ・キャラクター等を使用した商品の開発、販売及びサブライセンスの管理、サッカーに関する広告・宣伝業務等を行う。
役員数： 12名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 27名
当該公益法人が保有する株式数及びその割合： 27,000株／37.5%
保有する理由： Jリーグ経営基盤拡大等の見地から、当社の設立意義、業務形態等を勘案し、平成7年3月に増資された際に発行株式総数の33.3%を保有した。平成11年1月横浜フリューゲルス消滅に伴い、運営会社全日空スポーツ（株）の保有株式の譲渡を受け、Jリーグの保有比率は37.5%となった。平成11年3月、当社はJリーグとの間で、商品化権に関する基本契約を締結し、Jリーグ並びにJクラブの名称、ロゴ、マーク、商標等を使用する権利を取得し、業績拡大の礎を築いた。平成20年3月より、Jリーグ公式戦における看板運営業務並びにJリーグ主催イベント運営管理業務をJリーグより受託した。
当該公益法人と当該営利企業との関係： 役員兼任1名、業務委託及び商品化権料受領
名称： ジェイリーグフォト（株）
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス7階

資本金： 30,000,000円
事業内容： Jリーグ公式試合等の静止画像（スチール写真）を記録・保存し、質の高いサッカー写真の提供サービスを行う。また、スチール写真を一括管理することで選手・監督・コーチ等の肖像権を守る役割も担う。

役員数： 13名
代表者： 佐々木 一樹
従業員数： 6名
当該公益法人が保有する株式数及びその割合： 240株／40%
保有する理由： 当社が静止画像を系統的に記録し、一元的に管理運用することはサッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、肖像権の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要がある、当社の株式保有と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係： 役員兼任1名、業務委託及び商品化権利受領

名称： (株) Jリーグメディアプロモーション
事務所所在地： 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス8階
資本金： 30,000,000円
事業内容： Jリーグ公式試合等の映像を一元管理し、映像の記録・保存、権利等の管理を行う。また、保存されている映像を、国内外を問わず、ニーズに応じて様々な形で提供し、Jリーグの広報・サッカーの普及活動に繋げる。

役員数： 11名
代表者： 小西 孝生
従業員数： 15名
当該公益法人が保有する株式数及びその割合： 204株／34%
保有する理由： 当社が映像資料を系統的に記録し、一元的に管理運用することは、サッカーの普及とスポーツの振興の上で、意義深いことであり、また、利用者の利便性の向上、諸権利の保全等の見地から、Jリーグ主導で管理運営する必要がある、当社の株式保有と役員派遣を行うに至った。

当該公益法人と当該営利企業との関係： 役員兼任2名、業務委託及び放映権利受領

-2 スポーツ振興投票対象試合開催機構の業務

スポーツ振興投票の実施等に関する法律に基づき、スポーツ振興投票対象試合開催機構としての指定を受け、同法に定められた範囲内での業務を行い、日本のスポーツ振興に寄与した。

⑥ Jリーグ20周年事業の実施

Jリーグ設立20周年に関連する事業等の企画立案を実施した。

⑦ 東日本大震災復興支援活動の実施

東日本大震災の被災地を支援するため、「チカラをひとつに。－TEAM AS ONE－」のスローガンのもと、Jクラブ、選手、ファン・サポーター、スポンサー等と協力し、募金活動、被災地訪問、被災地からの招待等の復興支援活動を行った。

－1 Jリーグ TEAM AS ONE募金

Jリーグの主管試合ならびにJクラブのホームゲーム等において募金を実施、集まった募金にて簡易照明を購入し岩手県ならびに宮城県の被災地沿岸部に寄贈した。

3月より開始した募金の総額は、12月末時点で24,325,518円となり、うち15,120,000円にて簡易照明を購入、残金は9,205,518円となった。

寄贈先ならびに台数は以下の通り。

地域	台数	寄贈先
岩手県宮古市	8	宮古市サッカー協会
岩手県下閉伊郡山田町	4	山田サッカー協会
岩手県上閉伊郡大槌町	12	大槌サッカー協会
岩手県釜石市	8	釜石市サッカー協会
岩手県大船渡市	10	大船渡サッカー協会
岩手県陸前高田市	16	陸前高田市サッカー協会
宮城県本吉郡南三陸町	10	南三陸サッカー協会
宮城県本吉郡南三陸町 歌津地区	2	南三陸サッカー協会
宮城県石巻市	4	石巻サッカー協会
宮城県牡鹿郡女川町	8	石巻サッカー協会
宮城県気仙沼市	12	気仙沼市サッカー協会
宮城県気仙沼市本吉地区	2	本吉サッカー協会
合計 12 地域	96 台	

－2 Jクラブの被災地支援活動支援

スペシャルマッチの収益にて、Jクラブが実施する被災地支援活動の支援を1件あたり25万円を上限として行った。支援対象となった活動は以下の通り。

クラブ名	活動内容	実施日	対象地域
栃木SC	被災地からの招待	8月22日(水)	福島県
浦和レッズ	被災地訪問	8月20日(月)～24日(金)	岩手県山田町、大槌町
	被災地訪問	10月20日(土)～21日(日)	宮城県石巻市、名取市
ジェフユナイテッド千葉	被災地からの招待	8月12日(日)	千葉県旭市
川崎フロンターレ	被災地訪問	9月2日(日)	岩手県陸前高田市
横浜F・マリノス	被災地訪問	8月4日(土)～5日(日)	宮城県東松島市
横浜FC	被災地訪問	9月23日(日)	福島県福島市

アルビレックス新潟	被災地からの招待	8月18日(土)～21日(火)	福島県郡山市(郡山北工業高校)
	被災地からの招待	11月16日(金)～18日(日)	岩手県大船渡市、大槌町
清水エスパルス	被災地からの招待	8月25日(土)	岩手県山田町
ジュビロ磐田	被災地からの招待	8月17日(金)～19日(日)	岩手県山田町、大槌町、野田村
	被災地訪問	10月13日(土)～15日(月)	岩手県山田町、大槌町
京都サンガF.C.	被災地訪問	9月18日(火)	宮城県亘理町
ガンバ大阪	ホームスタジアム等での広報	9月29日(土)	茨城県(対戦相手が鹿島アントラーズ)
ヴィッセル神戸	被災地からの招待	8月11日(土)～12日(日)	宮城県石巻・東松島地域
	被災地訪問	12月4日(火)	宮城県石巻市
ギラヴァンツ北九州	被災地からの招待	8月4日(土)～6日(月)	岩手県釜石市